



緑の園

5月号

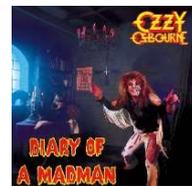
ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第59号

令和 3年5月1日発行

Ozzy Osbourne/Diary Of A Madman(1981)



いよいよワクチン接種が始まります!

国の緊急事態宣言が再び先月の25日から今月の11日までの17日間にわたり発令されました。

今回の対象となる東京、大阪、兵庫、京都の4都府県そして愛媛県には「まん延防止重点措置」が適用されました。

北海道におきましても特に札幌市の感染者数の増加が顕著であることに加え、全体的にも増加傾向にあることから、先月の27日から「特別対策」の期間として特に「札幌市への往来の自粛」が呼びかけられています。(この原稿は4/27の情報を基に作成しています)

早くも第4波の入り口にある現在の状態は改めてこのウイルスの感染力の強さと、変異し生き残ろうとする生命力の強さに恐怖を感じます。

そんな中特別養護老人ホームヒルトップハイツ、養護老人ホーム緑の園および特別養護老人ホームグリーンプラザでは今月の17日(月)以降ワクチン接種が始まる予定となっております。

利用者様ご本人への接種意思の確認が終了した段階でご家族への接種意思を行うべく先月下旬に「予診票」等必要書類を送付させていただいておりますのでご確認の上それぞれの施設にご返送いただきますよう



お願いいたします。

接種につきましてはあくまでも「任意」となっておりますが感染予防のために待ち望まれたワクチン接種が始まることに希望の光が強く輝きだしたことを痛感します。

ワクチンを接種しても実際の社会での効果が確認されるまでには時間がかかるのでしょうから当面の間は手洗い・マスク換気そして密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避を徹底することとは必要とされるのでしょうが、とにかく一歩前進といった気持ちです。(終わり)

心温まるご寄付ありがとうございました。

「特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ」へ

遠軽町 荒井良助様

「地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザ」へ

遠軽町 小野忠志様



Stay Home! 家から出るな。動かざること山のごとし～風林火山で行こうぜ! by武田信玄

5月ですね。「皐月(さつき)」とは「早苗月(さなえつき)」が詰まって「さつき」になったとか、「五月蠅(さばえ)」が「皐月」になったという説があるそうです。

5月といえば夏も近づく八十八夜、初夏の陽気の心地よい、風薫る青葉・若葉の清々しい季節のはずですが、今年も「行動制限」のかかるつらいスタートとなっています。

今は「(家に)籠る」ことを推奨されていますが、以前デイサービスを担当していた時の利用者さんが「何日も人と話さないことがある。話し相手はテレビだけテレビに向かってしゃべってばかり…。」とおっしゃられていました。

デイサービスは「通う」ことによって人と人がつながる環境を提供することによって社会性を維持するという目的があります。

その利用者さんは人と話すことだけのために(私にはそう思えた)デイサービスを利用されていました。

だから、皆勤賞でした。

この利用者さんはお一人暮らしだったので、それでも「寂しいとか、孤独だ」とかは聞いたことがないような気がします。

デイサービスを利用したり、自分なりの外出先があったんだと思いますがい意味で一人暮らしを満喫していたのだと思います。



ちょうどいい具合に人との距離を保って自分の時間も保つことのできたとても素晴らしい方だったです。

ただ、時々「人と話していないから言葉をおぼえてしまったわ。」と冗談ぽく話していたのを覚えています。



この方を見ていたら「孤独」を感じてしまうのは周囲(社会)から疎外されていると自分自身が思うのであって「孤独」を感じるのには他人の存在が必要なんだと思います。

ほんとに独りぼっちだったら「孤独」なんて絶対に感じないと思います。なにせ周りに人がいないのですから疎外されることもない。

「一人である」ことが孤独で寂しいのではない、無関心でいられることが人にとってとてもつらいことだということです。

知ってました? 『「愛情」の反対語は「無関心」』であるってということ。

これはマザーテレサの言葉ですがデイサービスというところは利用者さんの社会性、つながりをとても大切にします。「(あなたは)一人じゃない、私たちはあなたを待っています。」

デイサービスでは利用者さんの居場所を提供するということが職員の大切な仕事なんです。

さて、私は高校生の夏休み期間中一切字を書くことせずに遊びきったことがありました。

するとどうでしょう。私は自分の名前こそ書けたものの覚えていた数少ない「漢字」が書けなくなっているではありませんか!(本当の話です)

このときはさすがに怖くなりましたがこの時の苦い経験のおかげで今の私があります。

こんな私ですがどうぞよろしく。(おばら)

